

## 目 次

---

「然花抄院」のブランディング	荒木志華乃	5
<hr/>		
薬用植物の利用と<自然観>について —北部ベトナム・サバ県におけるザオ社会を事例に—	井 関 和 代	23
<hr/>		
ゴダール『映画史』における映画の引用について	豊 原 正 智	41
<hr/>		
『フィシオログス』(ベルン318番写本)に関する一考察	水 島 ヒロミ	59
<hr/>		
大岡春卜筆「秋色山水図」について	田 中 敏 雄	69
<hr/>		
日本人景 三角地	有 野 永 霧	77
<hr/>		
魂のデッサン —吉仲正直論—	木 村 和 実	87
<hr/>		
小野山和代著『しみしわたるみ 小野山和代 作品集』書評 グローバル化時代の染織教育研究の推進から	福 本 繁 樹	103
<hr/>		
英国における日本庭園紹介の取組について	福 原 成 雄	113
<hr/>		
万博公園アートプロジェクト「未来記憶圏からの目覚め」 —場の記憶を現代に活かす試み—	谷 悟	121
<hr/>		
中国 寧夏回族自治区の小中学校の環境	狩 野 忠 正	129
<hr/>		
長野市茶臼山動物園に「レッサーパンダの森」をつくる	若 生 謙 二	135
<hr/>		

## CONTENTS

---

“ZEN KASHOIN” Blanding Design	Shigeno Araki	5
‘The View of Nature’ of the Zao People in Sa Pa District, Northern Vietnam, as Reflected in Their Use of Medicinal Plants	Kazuyo Iseki	23
On the Excerpts from Films in Jean-Luc Godard’s <i>Histoire(s) du cinéma</i>	Masatomo Toyohara	41
The Bern Physiologus	Hiroshi Mizushima	59
A Study of Ōoka Shunboku’s <i>Landscape of Autumn</i>	Toshio Tanaka	69
Landscape by Japanese: Triangular lands	Arino Eimu	77
Dessin of the Soul: A Study on Yoshinaka Masanao’s Paintings	Kazumi Kimura	87
A Book Review of <i>the Stains, Sags and Wrinkles, ONOYAMA Kazuyo: Collected Works 1992-2010</i> , through the Global Perspective for the Education and Study of SENSHOKU or Textile Art.	Shigeki Fukumoto	103
Introducing the Japanese Garden to Britain	Masao Fukuhara	113
The World Expo Project “Wake-up from Sleep; the Area of Our Dream Reminder” —trying to utilize the mental picture of how it was—	Satoru Tani	121
Environment of Elementary and Middle Schools in NINGXIA, CHINA	Tadamasa Kano	129
The Creation of the Red Panda Forest in Nagano City Chausuyama Zoo	Kenji Wako	135

---

## 《筆者》

荒木志華乃	大阪芸術大学准教授 (ヴィジュアルデザイン)
有野永霧	大阪芸術大学教授 (写真)
井関和代	大阪芸術大学教授 (民族美術学・染織)
狩野忠正	大阪芸術大学元教授 (建築デザイン)
木村和実	大阪芸術大学准教授 (西洋美術史)
田中敏雄	大阪芸術大学教授 (日本美術史)
谷 悟	大阪芸術大学准教授 (アートプランニング)
豊原正智	大阪芸術大学教授 (映像学)
福原成雄	大阪芸術大学教授 (造園・庭園)
福本繁樹	大阪芸術大学教授 (染織)
水島ヒロミ	大阪芸術大学教授 (西洋美術史)
若生謙二	大阪芸術大学教授 (造園学)

## 《表紙制作者》

荒木志華乃	大阪芸術大学准教授 (ヴィジュアルデザイン)
-------	------------------------

## 《編集後記》

大阪芸術大学「紀要33」が完成し、お届けいたします。

本号には論文、書評、研究作品など12篇を掲載することができました。

表紙は32号に続きデザイン学科の荒木志華乃先生にお願いしたところ、「墨」の得意な作家らしい趣のある装丁になりました。

論文各篇も然る事ながら、今回はデザイン作品と写真作品の2篇を掲載したことで本としての感興も加味できたと感じております。

荒木志華乃先生の「然花抄院」は、京都室町にある菓子司のトータルデザイン作品です。伝統と現在の文化の融合ともいえる粋な環境空間、商品自体の開発、商品パッケージ、ギャラリーの運営企画全ての、プロデュース、アートディレクションとして領域を超えたデザイン研究です。

有野永霧先生のシリーズ写真「日本人景 三角地」は、二股に分かれた道、人は必ずどちらかの道を選び進まなければならない。この写真を一点一点見て行くと、一瞬自分はどちらの道に進むのだろうと考えさせられる場所を「切り撮り」被写体としたシリーズの「切り口」が、見る人をはっとさせる逸脱した作品になっていると感じました。

今回も編集委員の先生方には長い間関わっていただきご苦労様でした。それから掲載された先生方との交渉に当たってもらった当研究所の松下さん、ご苦労さまでした。皆様のおかげで、出来上がりは芸術大学らしさの出た刊行本になっていると思います。本当にありがとうございました。

藝術研究所の今年の催しを報告させていただきます。

今年は3年ごとに行われる大阪芸術大学主催であり当研究所で企画運営をしています「世紀のダ・ヴィンチを探せ！」国際アートトリエンナーレ2010として第2回目の展覧会や講演会を2010年7月から9月にかけて行いました。国際審査員として、パリ、ポンピドーセンターのロマン・ラクローア氏、国立国際美術館長の建島哲氏、京都国立近代美術館長の尾崎正明氏、ファッションデザイナーのコシノヒロコ氏、美術評論家の加藤義夫氏に來校していただきました。また毎年行っています「世紀のダ・ヴィンチを探せ！」高校生アートコンペティション2010には2872点の応募があり、展覧会も2010年11～12月に行ないご好評を得ました。

まだまだ藝術研究所としては不束な面がありますが、今後とも皆様方のご協力、ご支援を賜りますようよろしく願い申し上げます。

松井桂三

大阪芸術大学 紀要 <藝術> 33

---

平成22年12月1日発行

発行／大阪芸術大学

大阪府南河内郡河南町東山 Tel.0721-93-3781

編集／大阪芸術大学藝術研究所運営委員会

委員長 デザイン学科・教授 松井桂三

実務委員 デザイン学科・准教授 江尻幹子

文芸学科・教授 笹谷純雄

教養課程・教授 田中敏雄

芸術計画学科・教授 豊原正智

文芸学科・教授 長谷川郁夫

芸術計画学科・教授 樋口光治

文芸学科・教授 山縣 熙

印刷／株式会社ウイング